

令和6年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

文化・社会学専攻
専門科目試験問題

【社会学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答ははじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和5年9月9日実施

令和6年度 近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験問題
文化・社会学専攻 専門科目試験問題 社会学コース

問題：下記の問いに、それぞれ解答せよ。解答にあたって、なんらかの情報を参照する場合は、情報源である文献・資料の名称や著者名、媒体名など、覚えている範囲で構わないので、なるべく具体的に記載すること。

問1. 「現代社会における出来事」や、「メディア」および、メディアを流通する「コンテンツ」の中で、関心をもっている対象やテーマを挙げ、その対象やテーマについて、なるべく詳細に説明せよ。

問2. 問1で説明した対象やテーマを分析、考察するのに用いることができる学術的な「理論」や「概念」、「学説」などを挙げて（複数でも可）、それぞれについて、なるべく詳細に説明せよ。

問3. 問1で挙げた対象やテーマについて、問2で挙げた理論や概念、学説などを用いて、なんらかの考察を実施せよ。

【出題意図】

大学院において研究を行う上で基礎的なスキルとなる、研究対象やテーマの設定、および、当該分野における理論、概念、学説等の知識の習得、さらに、それを応用する力をはかる意図で出題した。